



Nestlé® Good food, Good life

2026 年 10 月 16 日

ネスレ日本株式会社

ネスレ日本と明治、協業による海上輸送を開始 輸送効率化と CO₂ 排出量の削減を推進

ネスレ日本株式会社(代表取締役社長兼 CEO: 島川 基、本社: 兵庫県神戸市、以下「ネスレ日本」と)と株式会社 明治(代表取締役社長: 八尾 文二郎、本社: 東京都中央区、以下「明治」)は、物流効率化および環境負荷低減を目的として、関東～関西間における海上輸送を 2026 年 10 月 19 日(月)より開始します。本取り組みでは、両社の貨物を往復輸送で組み合わせる「ラウンド輸送」(※1)を導入することで空荷走行を削減し、物流効率の向上と CO₂ 排出量の削減を図ります。

(※1) 荷物を届けた後の復路で別の荷物を運ぶことで空荷を減らし、効率を高める方法のこと



堺泉北港(大阪府堺市)で、トラックが船に乗り入れる様子



輸送する製品の例 左から:

明治「明治ほほえみ らくらくキューブ」明治「明治ほほえみ」、
ネスレ日本「ネスカフェ ゴールドブレンド」

近年、物流業界ではトラックドライバー不足の深刻化や環境負荷低減への対応など、さまざまな社会課題への対応が求められています。持続可能な物流体制を構築するためには、輸送効率の向上に加え、輸送手段の多様化や企業間連携の推進が重要となっています。こうした背景のもと、ネスレ日本と明治は、両社の物流ネットワークや製品特性を活かした共同取り組みについて検討を進めてきました。

今回開始する海上ラウンド輸送では、関東から関西への輸送において明治の粉ミルク製品を、関西から関東への輸送においてネスレ日本の飲料製品を運びます。輸送にはトラックの荷台部分(トレーラー)のみを船で運び、運転手が長距離を走行しない方式(※2)を採用しています。これにより、長距離輸送におけるドライバーの拘束時間を削減するとともに、空荷走行の削減による車両稼働率の向上を実現します。これらの取り組みにより、トラック輸送のみの場合と比べて、年間の CO₂ 排出量を約 56%削減できる見込みです。

ネスレ日本と明治は、本取り組みを両社間の物流連携の第一歩と位置付けています。今後も運用実績を踏まえながら、新たな輸送ルートや地域への展開可能性を検討し、物流の効率化と環境負荷低減の両立を目指します。

(※2) RORO(Roll-on Roll-off)を活用

<概要>

輸送開始日: 2026 年 10 月 19 日(月) 明治(関東～関西)
2026 年 10 月 22 日(木) ネスレ日本(関西～関東)
輸送頻度: 週 1 回(往復) ※最初は月 1 回(往復)より開始し、順次頻度拡大予定です。
輸送製品: 明治「明治ほほえみ」をはじめとした粉ミルク製品
ネスレ日本「ネスカフェ ゴールドブレンド」をはじめとした飲料製品

輸送区間:

【往路】明治 野田倉庫(千葉県野田市)→ 千葉港 → 明治 西日本 MDC(大阪府高槻市)

【復路】ネスレ日本 尼崎 MDC(兵庫県尼崎市)→ 堺泉北港 → ネスレ日本 野田物流センター(千葉県野田市)

※物流拠点や工場と港の間は、陸路でトラックを使用します。

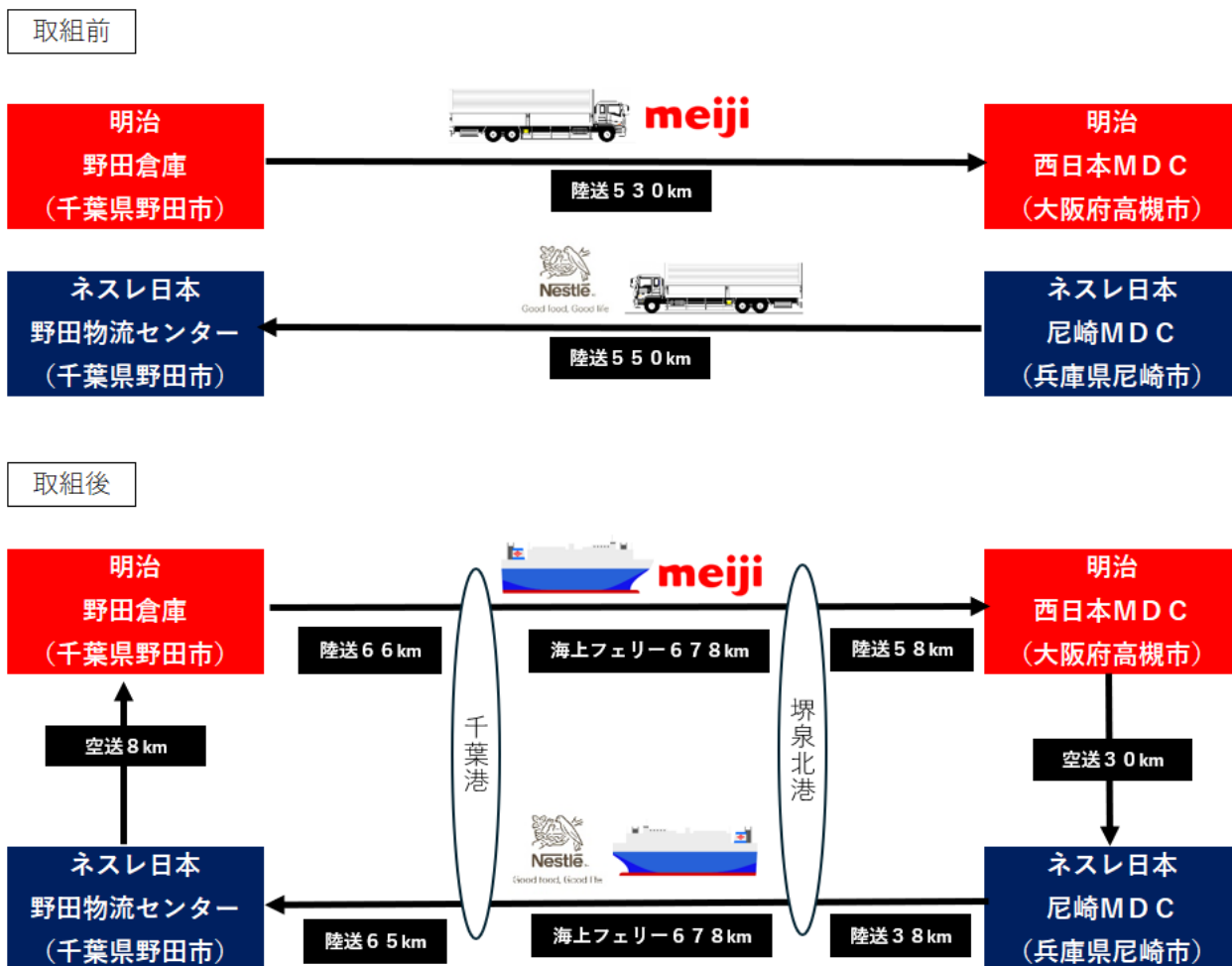


明治 野田倉庫(千葉県野田市)を出発するトラック



ネスレ日本 尼崎 MDC(兵庫県尼崎市)を出発するトラック

＜ネスレ日本と明治が共同で行う、海上輸送のイメージ＞



※物流会社について：郵船ロジスティクス株式会社が全行程の輸送を手配します。

以上

参考資料

■海上輸送とは

海上輸送とは、港と港の間を船舶で結び、フェリーなどを用いて貨物を海上で運ぶ輸送手段です。大量輸送に適しているため、同じ量を運ぶ場合の二酸化炭素(CO₂)の排出量がトラック輸送の約5分の1とされています(国土交通省等の公表資料に基づく)。

国土交通省ウェブサイト: <https://www.mlit.go.jp/common/001125261.pdf>

エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会: https://www.ecoship.jp/ecoship_ga.html

■ネスレ日本について

ネスレ日本は、スイスに本社を置く世界最大の総合食品飲料企業ネスレの日本法人で、1913 年（大正 2 年）に創業しました。ネスレは、「食の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます」を存在意義（パーパス）として掲げ、安全で、美味しく、環境にも配慮された製品やサービスを皆さまにお届けできるよう、今後も努めていきます。

ネスレ日本について: <https://www.nestle.co.jp/>

■明治について

明治は、「食と健康」のプロフェッショナルとして、乳製品、菓子、栄養食品など、幅広い商品を提供しています。明治グループでは、明治グループ長期環境ビジョン「Meiji Green Engagement for 2050」を制定し、地球環境への影響のさらなる軽減を目指し、地球の平均気温上昇を 1.5℃に抑えるパリ協定の努力目標にチャレンジしています。2050 年までにバリューチェーン全体で温室効果ガス排出量をゼロにする「カーボンニュートラル」の達成を目指しています。

明治グループ長期環境ビジョンについて: <https://www.meiji.com/sustainability/harmony/management/>